

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 83 号	氏名	吉永 泰周
学位審査委員	主査 池田 通 副査 林 善彦 副査 小守 壽文		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、炎症に外傷性咬合が共存した場合の骨吸収と RANKL の関連を示したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 炎症に外傷性咬合が共存した場合の骨吸収における RANKL 発現に関して、in vivo において調査しており、この種の研究成果を左右すると考えられる種々の標本選択バイアスを可能な限り除外するようにデザインし、更に種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、種々の標本選択バイアスを可能な限り小さくしても、炎症に外傷性咬合が共存した場合の骨吸収に RANKL が促進的に関与していることを明らかにし、今後の歯周病病理学的研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は歯周病病理学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			